

日中友好新聞

府連通信

2025年8月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

中国百科検定があることで勉強ができる

受験して新たに中国を知る

7月5日第17回中国百科検定 中国の風俗習慣が、大阪国労会館で実施されまも勉強したい」した。大阪会場には初級4名、3級3名、2級2名が受験され「去年会員になつたばかり。会に3級3名、2級2名が受験され「すそ野検定試験があるを広げる」というところに重点ことに驚いた。がありまですので、受験者総数は勉強してみるといつもより少なかったものの、楽しい。朝鮮と初級がその中で最も多い4名で中国の歴史的なあったのは大きな成果です。今関係に興味がある後のリピーターになつてもらえ「など感想をればと思います。述べていました。

第18回 中国百科検定
12月6日(土) 15時から
初級・3級・2級・1級・特級
大阪府社会福祉会館 谷町7丁目西へ

きりえで創る夏の団扇 原久壽仁

7月13日西支部きりえでを刷毛塗り、後からはみ出創る夏の団扇講習会を11名 たところをハサミやカッター参加して、大阪府連文化教育でカットするという方法で室で開催。今回の切り絵の行います。お題は水芭蕉です。まず水芭蕉の造形を切り抜くのは10分くらいで簡単にで色や草色の紙を切り抜きまきます。そこから和紙貼ります。それを団扇に貼って白彩に個性が発揮されることい水色芭蕉の部分に色を貼っていきます。

いつもなら、水芭蕉の型に色紙を切つて貼っていくのですが、今回は和紙をちぎって白い部分に載せ、上から水で溶かして糊



水芭蕉の型に色紙を切つて貼っていくのですが、今回は和紙をちぎって白い部分に載せ、上から水で溶かして糊

中国帰国者2世ブックレット

中国帰国者2世ブックレット——にしていきます。第一部「中国残留孤児・婦人」2世が人間の尊厳をもって笑顔で暮らしていくために(頒価800円)が好評です。もうお読みになりましたか？全体は三部からなります。

第一部「中国残留日本人・中国帰国者の人生が問いかけること」日中友好新聞(2024年1月1日)6月15日連載分)浅野慎一撰南大学教授は中国帰国者2世の最大の特徴は多様性にある、と指摘します。帰国年次によって会社の社長や大

学教授をしている方もおれば、生活保護を受給している方もおられます(2世の7/8割)。日本政府は自らの誤った政策で作ら出した「2世問題」にもかかわらず、正確な実態すらつかんでいません。連載は現状の問題点とその解決の方策を明らかにします。(石井

城北支部 中国百科検定に挑戦して

和泉市 堀内保孝さん

はじめて三級を受験しました。ひとことと言えば大変勉強になりました。問題集の三級のところと過去問を勉強しました。本当に近くの国なのにこんなことも知らなかったのだと思うことが多く、中学、高校の時代を思い出して取り組みました。

今中国語を学んでいるので、勉強していて楽しくなり、これから2級や1級も頑張つて受けてみようと思います。また世界遺産にもでかけてみたい気持ちになりました。ありがとうございました。

城北支部 弟子丸孝子さん

昨年10月に入会、まずは試験勉強をしなければならぬと。

大阪府連主催

講演と劇で考える

「戦後80年のつどい」

9月15日(月・祝)午後1時30分より府連主催「日中戦争から考える戦後80年のつどい」(仮)を開催します。

講演と劇団ENの劇です。「戦争の終わらせ方」の著作がある、原田敬一佛教大文学名誉教授による講演と詩人の茨木のり子さんが作った「劉連仁」のたたかいを詩をもとに製作された劇「りゅうりえんれんの物語」です。会場は、国労会館3階の大会議室です。ぜひご参加ください。

戦後80年日本の植民地主義を問う

7月27日午後、国労大阪会館で日本軍「慰安婦」問題の解決とは何かをテーマに、歴史教育者協議会会員で中学校教員の平井美津子さんが講演され会場は満席でした。

「近代、日本は欧米にならって台湾・朝鮮半島を植民地と支、日本の敗戦まで続きました。では、敗戦とともに日本は植民地主義を克服できたかという、残念ながら戦後80年にもなる現在においても、いまだ私たちが植民地主義を克服したとはい



現在においても、わたしたち市民社会で日本と朝鮮半島の歴史、特に『慰安婦』問題は正しく理解されているとは言いがたい状況が残念ながらあります。そこには教育の問題があります。教科書において『慰安婦』がどのように記述されてきたか、そして、その記述の変遷の背景には何があったのかについて」お話されました。



「検定があることで勉強できる。何歳になつても勉強すること目標ができる」 「テキキストは分厚くて読み込めていないが、百科検定の新しく知ることがたくさんあった」 「日本の歴史よりも中国の歴史のほうが面白い。今後は
